



東北大学金属材料研究所シンポジウム

協賛；日本金属学会、ナノ学会、学術振興会第172委員会

計算材料科学の展望： 次世代スパコンによる 飛躍を目指して

平成22年7月26日(月)・27日(火)
東北大学金属材料研究所 講堂

7月26日(月) 10:30~17:15

- 10:30 開会の挨拶 新家光雄 東北大学 金属材料研究所 所長
10:40 来賓挨拶 井上諭一 文部科学省 計算科学技術推進室 室長
11:00 シンポジウムの開催にあたって 毛利哲夫 北海道大学 大学院工学研究院/東北大学 金属材料研究所
11:35 招待講演 次世代スパコン計画と計算物質科学の挑戦
常行真司 東京大学大学院理学研究科/次世代スパコン戦略プログラム
分野2 「計算物質科学イニシアティブ」統括責任者
13:10 材料科学における界面・粒界の機能と原子構造解析 幾原雄一 東京大学 大学院工学系研究科
13:40 計算材料科学による材料界面の解明と設計 香山正憲 産業技術総合研究所
14:10 第一原理計算の多重実行に基づいた酸化物の構造と統計熱力学 田中 功 京都大学 大学院工学研究科
15:00 常識を覆す新しい構造材料としてのバルクナノメタル
～実験により得られた興味深い力学挙動と計算に期待するもの
辻 伸泰 京都大学 大学院工学研究科
15:30 構造材料の力学挙動のナノスケールからの理解 ー実験と計算の融合に向けてー
尾方成信 大阪大学 大学院基礎工学研究科
16:15 状態図を基盤とした材料設計の現状と今後(平衡論からのアプローチ) 大沼郁雄 東北大学 大学院工学研究科
16:45 フェーズフィールド法を用いた材料設計の現状と今後(速度論からのアプローチ)
小山敏幸 名古屋工業大学大学院工学研究科
17:15 講評 森永正彦先生、塚田捷先生、榊 茂好先生、岡崎進先生他
----- 懇 親 会 -----

7月27日(火) 9:30~15:50

- 9:30 信頼性のある理論材料設計 川添良幸 東北大学 金属材料研究所
10:00 スピントロニクスと計算材料科学 高梨弘毅 東北大学 金属材料研究所
10:30 電子論による合金の熱力学量評価と状態図計算への応用 大谷博司 九州工業大学大学院工学研究院
11:15 招待講演 分子科学理論における諸問題 ー特に動力学を中心としてー
高塚和夫 東京大学 大学院総合文化研究科/次世代スパコン戦略プログラム
分野2「計算物質科学イニシアティブ」分子科学分野研究拠点代表
12:50 時間分解観察による凝固現象の素過程の解明と課題(実験) 安田秀幸 大阪大学 大学院工学研究科
13:20 時間分解観察による凝固現象の素過程の解明と課題(計算) 大野宗一 北海道大学 大学院工学研究院
14:10 エネルギー利用を目指した水素化物の材料設計 折茂慎一 東北大学 金属材料研究所
14:40 超大規模第一原理計算による新規水素貯蔵材料探索 水関博志 東北大学 金属材料研究所
15:10 全員 まとめの討論
15:30 講評 寺倉清之 北陸先端科学技術大学院大学
15:50 閉会の挨拶 古原忠 東北大学 金属材料研究所 副所長

◆問合せ 東北大学金属材料研究所 庶務係 電話 022-215-2181

E-mail: imr-som@imr.tohoku.ac.jp